



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成27年1月29日

上場取引所 東

上場会社名 日本ギア工業株式会社

コード番号 6356 URL <http://www.nippon-gear.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 勝村 哲

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 伊藤 政夫

TEL 0466-45-2100

四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の業績（平成26年4月1日～平成26年12月31日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	6,569	2.9	468	22.9	470	16.1	302	19.6
26年3月期第3四半期	6,383	△14.3	380	3.1	405	15.0	253	18.8

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	21.34	—
26年3月期第3四半期	17.84	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第3四半期	10,002	6,429	64.3	453.03
26年3月期	10,362	5,986	57.8	421.67

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 6,429百万円 26年3月期 5,986百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	2.00	—	3.00	5.00
27年3月期	—	2.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	3.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成27年3月期の業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,000	3.3	370	△8.7	350	△17.3	220	△8.5	15.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期3Q	14,280,000株	26年3月期	14,280,000株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	87,288株	26年3月期	82,213株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期3Q	14,196,292株	26年3月期3Q	14,199,467株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社のセグメント別受注状況は、歯車及び歯車装置事業ではバルブ・コントロールは輸出が伸びず受注は減少いたしました。ジャッキ及びその他の増減速機は需要が堅調だったため、受注は増加いたしました。歯車につきましては自動車用の不振により受注は大幅に減少いたしました。これらにより、歯車及び歯車装置事業では受注は減少いたしました。工事業では発電所の定期点検工事の繰り延べはあるものの、受注は増加いたしました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の受注高は69億2百万円（前年同期比1.9%減）、売上高は65億69百万円（前年同期比2.9%増）となりました。一方、当第3四半期会計期間末の受注残高は39億10百万円（前期末比9.3%増）となりました。

損益面につきましては、原価低減、経費削減に努めた結果、営業利益が4億68百万円（前年同期比22.9%増）、経常利益は4億70百万円（前年同期比16.1%増）、四半期純利益は3億2百万円（前年同期比19.6%増）となりました。

各セグメントの業績は次のとおりです。

歯車及び歯車装置事業につきましては、バルブ・コントロールの受注高は、火力発電所、原子力発電所、上下水道、鉄鋼向けが増加したものの、輸出、石油、船舶、化学、補修用部品が減少したことにより、前年同期比4.5%減となりました。売上高は、原子力発電所、船舶、化学、補修用部品が減少したものの、火力発電所、輸出、上下水道、石油、鉄鋼向けが増加したことにより、前年同期比7.2%増加いたしました。ジャッキにつきましては設備投資の回復基調により、前年同期比で受注高は20.4%、売上高も22.0%増加いたしました。その他の増減速機につきましては、受注高は前年同期比19.5%、売上高も前年同期比32.5%それぞれ増加いたしました。歯車の受注高は、建設機械用が増加したものの、自動車用、鉄道・船舶用、その他産業機械用が減少したため、前年同期比22.2%減少いたしました。売上高は、建設機械用、その他産業機械用が増加したものの、自動車用、鉄道・船舶用が減少したため、前年同期比22.2%減少いたしました。以上の結果、歯車及び歯車装置事業では、受注高は前年同期比3.0%減少し、売上高は4.4%増加いたしました。

工事業につきましては、受注高は、石油・化学、上下水道向けが減少したものの、火力発電所、原子力発電所向けが増加したことにより、前年同期比0.5%増加いたしました。売上高は、原子力発電所向けが増加したものの、火力発電所、石油・化学、上下水道向けが減少したことにより、前年同期比0.4%減少いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における財政状態につきましては、流動資産は前事業年度末に比べ2億71百万円減少し71億20百万円となりました。これは主に売上債権が3億70百万円、たな卸資産が1億81百万円増加いたしました。現金及び預金が7億70百万円減少したことによるものであります。

固定資産は前事業年度末に比べ88百万円減少し、28億81百万円となりました。これは主に投資有価証券が58百万円増加いたしました。長期繰延税金資産が1億19百万円減少したことによるものであります。

流動負債は前事業年度末に比べ3億28百万円減少し、25億26百万円となりました。これは主に仕入債務が1億21百万円、未払法人税等が54百万円、賞与引当金が2億53百万円減少したことによるものであります。

固定負債は前事業年度末に比べ4億74百万円減少し、10億45百万円となりました。これは主に長期借入金が12百万円増加いたしました。退職給付引当金が3億97百万円減少したことによるものであります。

純資産は前事業年度末に比べ4億43百万円増加し、64億29百万円となりました。これは主に利益剰余金が4億12百万円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期累計期間の各利益の実績値が通期業績予想値を上回っておりますが、平成27年3月期通期の業績予想につきましては、保守需要の受注動向が不透明であり、費用を合理的に算定することが困難な状況であるため、平成26年5月13日の「平成26年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」で公表いたしました通期の業績予想を修正しておりません。今後、利益予想が可能となった時点で、速やかに開示いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更し、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数とする方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期累計期間の期首の退職給付引当金が2億80百万円減少し、利益剰余金が1億80百万円増加しております。また、当第3四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益に対する影響額は軽微であります。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,971,836	1,201,377
受取手形及び売掛金	2,946,499	3,317,120
商品及び製品	153,440	149,853
仕掛品	601,004	592,967
原材料及び貯蔵品	1,369,471	1,562,474
その他	349,393	296,398
流動資産合計	7,391,646	7,120,191
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,013,291	1,013,291
その他(純額)	1,163,986	1,150,937
有形固定資産合計	2,177,277	2,164,228
無形固定資産		
	113,717	102,308
投資その他の資産		
投資有価証券	453,683	512,493
その他	231,333	108,051
貸倒引当金	△5,200	△5,200
投資その他の資産合計	679,817	615,345
固定資産合計	2,970,811	2,881,882
資産合計	10,362,457	10,002,074
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,670,757	1,548,922
1年内償還予定の社債	80,000	80,000
1年内返済予定の長期借入金	261,000	192,000
未払法人税等	152,840	98,103
賞与引当金	366,327	112,865
その他	324,501	494,707
流動負債合計	2,855,427	2,526,598
固定負債		
社債	120,000	80,000
長期借入金	354,000	366,000
退職給付引当金	494,160	97,037
役員退職慰労引当金	1,785	735
環境対策引当金	23,541	23,541
資産除去債務	204,296	195,028
その他	322,518	283,343
固定負債合計	1,520,301	1,045,685
負債合計	4,375,728	3,572,283

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成26年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,388,800	1,388,800
資本剰余金	848,348	848,348
利益剰余金	3,660,135	4,072,482
自己株式	△26,715	△31,567
株主資本合計	5,870,568	6,278,062
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	116,161	151,727
評価・換算差額等合計	116,161	151,727
純資産合計	5,986,729	6,429,790
負債純資産合計	10,362,457	10,002,074

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
売上高	6,383,603	6,569,782
売上原価	4,557,584	4,631,207
売上総利益	1,826,019	1,938,574
販売費及び一般管理費	1,445,246	1,470,531
営業利益	380,773	468,043
営業外収益		
受取利息	92	124
受取配当金	8,561	10,259
助成金収入	19,370	-
その他	16,253	13,332
営業外収益合計	44,277	23,716
営業外費用		
支払利息	19,161	18,560
その他	156	2,319
営業外費用合計	19,317	20,880
経常利益	405,733	470,878
特別利益		
固定資産売却益	-	4,939
特別利益合計	-	4,939
税引前四半期純利益	405,733	475,817
法人税等	152,393	172,864
四半期純利益	253,340	302,953

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第3四半期累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	歯車及び歯車装置	工事	
売上高			
(1)外部顧客への売上高	4,422,097	1,961,505	6,383,603
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	4,422,097	1,961,505	6,383,603
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	△57,604	438,377	380,773

(注) セグメント利益又はセグメント損失(△)の合計は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	歯車及び歯車装置	工事	
売上高			
(1)外部顧客への売上高	4,616,048	1,953,734	6,569,782
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	4,616,048	1,953,734	6,569,782
セグメント利益	27,036	441,007	468,043

(注) セグメント利益の合計は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。